

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
小児看護学方法論Ⅲ	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	櫻井 照美 ※	
授 業 概 要						
健康障害のある子どもと家族への看護について学ぶ。ここでは①入院時から子どもと家族が退院後に地域で生活することをふまえて看護を考えること、②地域との窓口である小児科外来での看護の役割がわかり、多職種連携・継続看護について認識を深めること、③健康障害が子どもと家族に及ぼす影響を知り、成長発達を踏まえながら健康障害のある様々な状況の子どもと家族への看護を理解できるようになる。						
到 達 目 標						
1. 病気や入院が子どもと家族に及ぼす影響を述べる。 2. 入院が必要な子どもと家族の看護を述べる。 3. 小児科外来における看護の役割を述べる。 4. プリパレーションの意義と具体的な方法を述べる。 5. 急性期・慢性期・終末期にある子どもと家族の看護を述べる。 6. 保健・医療・福祉・教育及び他職種との連携・協働について述べる。						
回	学 習 内 容				担当教員	
1-4	1. 保健・医療・福祉・教育及び他職種との連携・協働 2. 病気に対する子どもの理解と説明 1) プリパレーション 3. 小児科外来における子どもと家族の看護 4. 病気や入院が子どもと家族に及ぼす影響 5. 入院が必要な子どもと家族の看護（入院環境含む） 6. 活動制限や隔離が必要な子どもと家族の看護、痛みのある子どもと家族の看護				櫻井 照美 ※	
5-9	7. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 急性期の子どもと家族の特徴と看護 2) 急性期にある子どもと家族の看護（急性胃腸炎、肺炎、熱性けいれん、川崎病、 症状別看護：発熱・脱水・下痢・嘔吐・呼吸困難・けいれん含む）					
10-14	8. 慢性期にある子どもと家族の看護 1) 慢性期の子どもと家族の特徴と看護 2) 慢性期にある子どもと家族の看護（気管支喘息・ネフローゼ症候群・I型糖尿病 ・急性リンパ性白血病、症状別看護：浮腫含む）					
15	9. 終末期にある子どもと家族の看護 1) 終末期の子どもと家族の特徴 2) 発達段階での子どもの死のとらえかた 3) 子どもの死を看取る家族への看護					
学 習 方 法						
講義・課題学習。課題にそって学習し、講義にのぞむ。						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 科目修了試験						
先 修 科 目						
なし						
教科書、参考書						
〔教科書〕						
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕	小児看護学概論	小児臨床看護総論 第	奈良間美保 他	医学書院		
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕	小児臨床看護各論	奈良間美保 他	医学書院			
〔参考書〕						
根拠と事故防止からみた 小児看護技術	浅野みどり 編集	医学書院				